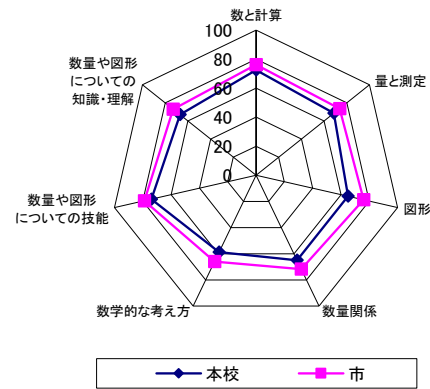


宇都宮市立城山東小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と計算	72.5	76.2	72.9
	量と測定	68.6	73.6	70.6
	図形	65.0	76.0	72.1
	数量関係	65.0	71.8	66.9
観点別	数学的な考え方	58.8	65.9	58.0
	数量や図形についての技能	73.9	78.9	76.2
	数量や図形についての知識・理解	66.9	73.1	70.4

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	○分数のかけ算については、正答率が100%であった。 ●小数同士のかけ算やわり算の計算については市の正答率を下回っている。 ●分数のわり算の性質についての設問では、正答率が6割であり、理解が不十分であるといえる。 ○●小数の文章問題では、問題場面を表した図を選ぶことはできるが、問題に合った式を選ぶ設問では市の正答率を下回った。小数のわり算の意味の理解が不十分であるといえる。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・小数点の処理については、小数のたし算や引き算との違いが明確になるように繰り返し復習を行い、確実な定着を図る。 ・文章問題では、数直線や図などを用いたり、具体的な場面に当てはめたりして理解しやすくし、正しく立式する力を身に付けられるようにする。
量と測定	●単位量当たりの大きさや速さを求める問題では、ほとんどの設問で市の正答率を下回っており、理解が不十分であるといえる。 ○●面積や体積を求める問題では、直方体を組み合わせた形の体積の設問で、市の平均を上回った。しかし、高さが図形の外にある三角形の底辺と高さを読み取り、面積を求める式を選ぶ設問では、他の設問より正答率が下がり、課題が見られた。	・単位量当たりの大きさや速さについては、朝の学習等で復習をし、定着を図る。 ・機械的に面積や体積を求める式を覚えるのではなく、基本図形の変形や積み上げによって面積や体積が求められることに着目させ、具体物を操作して公式を発見していく時間を多くとるようにする。また、面積や体積を求める練習問題を行う際には、様々なタイプの問題に取り組ませ、求積のためにどの部分の長さを知る必要があるか考えさせるような指導を行っていく。
図形	●領域の正答率は、他の領域と比べて低く、市の平均を下回っている。特に、正六角形の作図方法から、正三角形、正六角形それぞれの一つの内角の大きさを求める設問、平行四辺形の性質を問う設問では、正答率がいずれも6割に達しておらず、理解が不十分であるといえる。	・多角形の内角の和の求め方は、三角形の内角の和が180度であることをもとに考えていくことを確認するとともに、作図をする際には、機械的に手順を追っていくのではなく、図形の性質を理解して作図するように指導する。
数量関係	○文字を使って2つの数量を表す設問では、市の正答率を上回っている。 ●反比例の表を読み取り、あてはまる数を求める設問では正答率が低く、反比例の関係について理解が不十分であるといえる。 ●割合と比の問題では、いずれの設問においても市の平均を下回っている。特に、調理の材料の分量について、比を用いて計算する設問では、正答率が2割に達しておらず、無解答も見られた。	・比例や反比例の問題では、日常生活の中から比例や反比例の関係にある事象を見つけ出すなど、比例や反比例の意味を理解できるように指導を行い定着を図っていく。 ・割合や比の設問では、問題場面を理解できるように図や数直線を用いるなどし、もとにする量、比べられる量、割合の違いが理解できるように指導を行っていく。